

令和 6 年 10 月 31 日
仙台市成年後見サポート推進協議会

せんだい支えあいのまち推進プラン 令和 5 年度における成年後見制度利用促進に向けた取り組みの振り返り（報告）

せんだい支えあいのまち推進プランにおける成年後見制度利用促進分野の令和 5 年度の取り組みに対する、仙台市成年後見サポート推進協議会の意見は次の通りである。なお、意見のとりまとめにあたっては、仙台市作成の令和 5 年度総合評価シートを参考とした。

1 成年後見総合センターによる成年後見制度の利用支援の取り組み

令和 4 年度より個別事例について専門的な判断を担保する場として新設した「権利擁護チーム支援会議」を令和 5 年度は 6 回開催した。令和 4 年度に引き続き、挙げられた個別事例に対して、弁護士、司法書士、社会福祉士から助言を受ける等、専門職と共に支援検討を行い、支援担当者の負担軽減や、経験値の共有、技能向上を図った。

市長申立件数は 24 件と令和 4 年度より減少するかたちとなったが、令和 5 年度より、専門職アドバイザー（弁護士、司法書士、社会福祉士）を配置し、直接専門職から専門的な助言を受けられる機会の提供や、成年後見制度に興味のある市民を対象とした講座を 2 回、福祉関係者を対象とした研修を 2 回開催するなど、制度の利用促進や普及啓発に取り組んだ。その結果、相談件数は 1092 件、講師派遣は 18 件と、令和 4 年度（相談件数：713 件、講師派遣：6 件）よりも増加した。

また、仙台市成年後見総合センターのホームページやパンフレットの改訂や、市政だよりに成年後見制度の特集ページを掲載する等、広報啓発にも取り組んだ。

2 市民後見人の受任機会拡大の取り組み

令和 5 年度の市民後見人新規受任件数は 2 件となり、令和 4 年度と横ばいとなった。市民後見人が適切な後見活動ができるよう助言等を行いながら活動を支援し、その活動を担保することで適切な権利擁護支援につなげることができた。また、市民後見人連絡会を 3 回開催し、市民後見人同士で情報交換ができる場を定期的に提供し、後見活動に活かせるネットワークづくりを図った。

令和 4 年度に引き続き、市民後見人受任促進に向け、仙台家庭裁判所、行政、成年後見総合センターの三者で定期的に意見交換を行い、親族後見人から市民後見人へのリレー方式について協議を行った。令和 5 年度は家庭裁判所と連携しながら、リレー方式のフロー図をモデル的に作成し、市民後見人受任促進に取り組んだ結果、リレー受任を 1 件実現することができた。